

登録コード	HS120400	開講年度	2026				
授業題目	繊維創成学特論				担当教員	後藤 康夫 他	
英文授業名	Fabrication of Fiber and Polymer Materials				副担当	宝田 亘	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	博士課程
				授業形態	講義	備考	博士課程1～2年
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HS初, 2025HS初, 2024HS初, 2023HS初						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	研究者として活動していくうえで、必要となる深い知識や日納が身につけられるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	高分子材料・繊維材料を利用した製品づくりにおいて必要な基礎能力ならびに応用能力を向上させることを目的とする。						
(3)授業の概要/Overview of course	私たちの身の回りにあふれる繊維・高分子製品を生産していく上で重要となる材料設計指針ならびに製造プロセスに対するセンスの滋養を目的として、発展的に高分子科学ならびに繊維工学を学び、製品づくりにどのように活用していくかを学ぶ。						
(4)授業計画/Course plan	繊維材料の作製方法とその基盤となる高分子科学について学習する。						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	出席・学生自身によるプレゼンテーション・レポート等により総合的に評価する。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	受講生のプレゼンテーションやレポートの内容に従って総合的に判断する。 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可： 授業の達成目標の水準にない						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	自学自習により、自分の知識を高め、研究に役立てることができるようになることを目標とする。したがって、基本は自学自習であり、自分では理解できない部分についてのみ教員の助けを求めるようにする。						
(8)履修上の注意/Notes	主要な高分子ならびに繊維材料についての化学特性・物理特性の基礎についてはすでに学習していること。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は随時受け付ける。						
(10)授業の形式/Course format	講義						
【教科書/Textbook(s)】	なし						
【参考書/Reference work(s)】	・ 高分子の構造と物性（講談社） ・ 基礎高分子科学 高分子学会編（東京化学同人） ・ 基礎高分子科学演習編 高分子学会編（東京化学同人）						